

# The Record

2009-01 Vol.590



社団法人 日本レコード協会



## Contents

新年のご挨拶 .....	2
Monthly News Digest .....	3
第15回日本プロ音楽録音賞授賞式開催.....	5
文化審議会著作権分科会私的録音録画小委員会が 最終報告書を取りまとめ.....	6
PICK UP .....	7
Monthly Production Report.....	8
GOLD DISC.....	9
Message & Opinion .....	10



このマークは、レコード会社が  
提供するコンテンツを示す  
(社)日本レコード協会の登録商標です



新年のご挨拶



## レコード産業の復活を果たす年に

社団法人日本レコード協会  
会長 石坂敬一

新年あけましておめでとうございます。皆さまにおかれましては、健やかに新年を迎えられたことと心よりお慶び申し上げます。

まず始めに昨年のレコード産業の市況ですが、海外各国が前年を大きく下回る中、再販制度の存在を背景とし、パッケージと配信の共生している日本はほぼ前年並み実績を確保できたのではないかと見込んでおります。

こうした中、日本レコード協会では昨年「レコード産業の復活を果たす」をスローガンに、さまざまな取り組みを行ってまいりました。

まず、違法対策としては、5組のアーティスト出演による全国TVCMを中心とした「携帯音楽を守りたい」大型キャンペーン、「STOP! ILLEGAL COPY」キャンペーンの実施や正規配信サイトへの「エルマーク」の導入等、また、文化事業としては、SPレコード音源のアーカイブ構築の推進を支援、さらに日本音楽の海外へのライセンスアウトを目的とした第5回東京アジア・ミュージックマーケットの成功など、展開した施策において多くの成果があったと考えております。

本年は「レコード産業の復活を果たす」をさらに確固たるものとするために、ネット上の健全な音楽流通に向けて、「違法サイトからのダウンロード等を違法」とする著作権法改正の実現、違法配信撲滅のための著作権啓発活動の強化、特に小・中・高生等の若年層にフォーカスをあてた音楽創造のサイクルの重要性の認知拡大および著作権意識の啓発、「エルマーク」のさらなる普及に努めます。さらに、パッケージも含めた違法コピー撲滅に向け、CDショップ店頭からの「STOP! ILLEGAL COPY」キャンペーンを継続します。

需要拡大施策として、パッケージではCDショップ店頭でユーザーを呼び込む「CDショップ大賞」をサポートします。配信ではこの春から「着うたフル®」ウィークリー・チャート公表をスタートさせます。

また、今年3回目を迎える「JAPAN国際コンテンツフェスティバル」(コ・フェスタ)の音楽部門イベント「東京アジア・ミュージックマーケット」(TAM)をさらにビジネス面で充実させ、日本音楽コンテンツの海外向けライセンスの一層の拡大を図ります。

モットーは「主張するRIAJ、行動するRIAJ」です。

レコード産業は今年も大きな変革期にあります。レコード製作者の正当な利益を守り日本の音楽文化の発展と産業の振興を図るため、本年もさまざまな課題に積極的に取り組んでいく所存であります。

最後になりましたが、皆さま方の益々のご健勝、ご繁栄をお祈り申し上げまして、新年のご挨拶とさせていただきます。



## 11/22

### 「ネットワーク流通と著作権制度協議会」設立総会開催

11月22日、東京都港区の虎ノ門パストラルにおいて、「ネットワーク流通と著作権制度協議会」の設立総会および第1回全体協議会が開催された。この協議会は著作権関連ビジネス、ネットワーク関連ビジネスと著作権法分野の有識者により、コンテンツのネットワーク流通に対応した著作権制度の在り方を協議し、協議結果を提言の形で公表することを目的としている。発起人となった弁護士や大学教授、権利者団体関係者が会員を募り、弁護士や、レコード会社、出版社、放送局等の著作権責任者が入会している。会長には、新潟大学名誉教授であり弁護士の齊藤博氏が就任した。

具体的な検討テーマとして、コンテンツのネットワーク流通促進方策や権利制限の一般規定(日本版フェアユース規定)が挙げられており、設立総会の後には協議会の理事等がパネルディスカッションを行い、これらのテーマについて今後の課題や議論すべき方向性について意見を交わした。

この協議会では今後、分科会を設置し、実質的な議論を進めるとともに、協議結果を提言として取りまとめ、公表していく予定である。

## 11/27

### 生野専務理事 東京商工会議所「コンテンツシンポジウム」に参加

11月27日、東京都千代田区の東京商工会議所ビルにおいて、東京商工会議所主催の「コンテンツシンポジウム」が開催され、当協会から生野専務理事がパネリストとして参加した。このシンポジウムは東商創立130周年の記念事業として開催され、映画、音楽、テレビ、アニメの関

係者が一堂に会し、コンテンツビジネスの重要性や他業種との連携によるビジネスチャンスの可能性などについて、来場者とともに考えることを目的に開催されたものである。

音楽分野の代表として参加した生野専務理事は、レコード産業の現状および課題を述べ、また他業種との連携の成功例として「着うた®」のビジネスモデルなどを紹介した。

## 12/03

### 「着うた®の日 LIVE'08」イベント開催

12月3日、東京都新宿区のウェルシティ東京(東京厚生年金会館)において、レーベルモバイル(株)主催による「着うた®の日 LIVE'08」が開催された。

「着うた®の日 LIVE'08」は、レーベルモバイル(株)が定めた「着うた®の日」(12月3日)を記念して行われたライブイベントである。

「着うた®の日 LIVE'08」の詳細は7ページに掲載。



## 12/04

### 「音の日」イベント開催

12月4日、東京都港区の虎ノ門パストラルにおいて、「音の匠」顕彰、「第15回日本プロ音楽録音賞」授賞式、「音の日のつどい」など記念行事が開催された。本

イベントはエジソンがフォノグラフを発明した1877年12月6日にちなむ「音の日」を記念して行われたもの。

当協会は、日本プロ音楽録音賞の主催団体であり、授賞式には、水村常務理事がプレゼンターとして参加した。

第15回日本プロ音楽録音賞の詳細は、5ページに掲載。



# 12/12

## ファイル共有ソフト 利用実態調査2008年版公表

12月12日、当協会、(社)コンピュータソフトウェア著作権協会(ACCS)、および日本国際映画著作権協会(JIMCA)は、2008年9月に実施した「ファイル共有ソフト利用実態調査」の結果を公表した。

今回の調査では、ファイル共有ソフトの「現在利用者」がインターネット利用者の10.3%となり(2007年9月の調査では9.6%)、調査を始めた2002年以来、現在利用者が初めて1割を超え、また、現在利用者の58.3%が積極的な利用継続の意向を示していることが判明している。

「ファイル共有ソフト利用実態調査」結果の詳細は2月号にて掲載予定。

<http://www.riaj.or.jp/release/2008/pr081212.html>

# 12/18

## 第14回 RIAJセミナー開催

12月18日、東京都港区のコンフォー

トにおいて、第14回RIAJセミナーが開催された。今回のセミナーは、レコード会社法務担当者を対象に、(社)日本音楽著作権協会(JASRAC)業務本部渡辺誠副本部長を講師に招き、「BGM管理の歴史と現状」をテーマに展開された。

当協会がレコード演奏権の立法化を推進するに当たって、これまでJASRACが取り組んできた著作権法附則14条(適法録音物による再生演奏については、一定の場合を除き、当分の間、演奏権を及ぼさないとする規定。平成11年法改正で削除)撤廃までの歴史と演奏権管理、BGM管理の現状と問題点が語られ、聴講者からは多くの質問が寄せられた。



# 12/24

## 違法な携帯電話向け音楽配信に関するユーザー利用実態調査 2008年版公表

12月24日、当協会は、「違法な携帯電話向け音楽配信に関するユーザー利用実態調査」の結果を公表した。本調査は、いまだ増加を続ける違法な携帯電話向け音楽配信のユーザー利用実態を把握し、今後の適切で効果的な対応策の検討材料とすることを目的に実施されたものである。

この調査結果によると、違法音楽ファイルの推定ダウンロード数は年間で約4億714万ファイル以上(前年:3億9,926万ファイル)とされ、直近1年間(2007年10月~2008年9月)の有料「着うた®」・「着うたフル®」ダウンロード数の3億2,900万回を上回っている。

「違法な携帯電話向け音楽配信に関するユーザー利用実態調査」2008年版の詳細については、2月号掲載予定。

<http://www.riaj.or.jp/release/2008/pr081224.html>

## ●● 役員人事 ●●

### ■新任(2008年12月19日付)

理事: 福田太一  
ジェネオン エンタテインメント株式会社  
代表取締役社長

### ■退任(2008年11月30日付)

理事: 気賀純夫  
前 ジェネオン エンタテインメント株式会社  
代表取締役社長

## ●● 会員社のお知らせ ●●

### ■社名変更(2009年1月1日付)

社名: ユニバーサル ミュージック合同会社  
(正会員)  
[旧:ユニバーサル ミュージック株式会社]  
代表: 最高経営責任者兼会長 石坂敬一  
※住所、電話番号は変更なし

### ■社名変更(2009年1月5日付)

社名: フライングドッグ株式会社(賛助会員)  
[旧:JVCエンタテインメント株式会社]  
代表: 代表取締役社長 佐々木史朗  
住所: 変更なし  
電話: 03-6439-3910  
FAX: 03-6439-3801

## 2008年12月会議メモ

12/ 3 マーケティング委員会

12/ 9 法制委員会

12/11 広報委員会

12/12 情報・技術委員会

12/17 海外市場拡大委員会

12/19 執行委員会

## 第15回日本プロ音楽録音賞授賞式開催

12月4日、東京都港区の虎ノ門パストラルにおいて、(社)日本オーディオ協会、(社)日本音楽スタジオ協会、日本ミキサー協会、演奏家権利処理合同機構Music People's Nestおよび当協会主催による第15回日本プロ音楽録音賞授賞式が開催された。

この賞は、音楽とオーディオ文化の向上に努める録音エンジニアの感性と技術にスポットライトを当てるもので、音楽制作および録音に対する一般ユーザーの認識を高めるとともに、録音エンジニアの一層の技術の向上、ならびに地位の確立を目指すものである。

第15回目を迎えた本賞には4部門計72作品の応募があり、審査

委員会の厳正な審査の結果、各部門から計11作品の優秀作品とベストパフォーマー賞1作品が選ばれた。当日は優秀作品の表彰とそれらの中から各部門ごとに

最優秀作品とそのエンジニアを発表し、併せて表彰が行われた。

当協会からは、水村常務理事がプレゼンターとして参加した。



### 最優秀賞受賞作品

	<p><b>部門A 「2ch パッケージメディア」</b> クラシック、ジャズ等</p> <p>「PLEIADES」より 「FRAME FOR THE BLUES」</p> <p>Eric Miyashiro 発売元：(株)ヴィレッジミュージック</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ <b>メイン・エンジニア</b>:篠筈孝 (株)ソニー・ミュージックコミュニケーションズ</li> <li>■ <b>マスタリング・エンジニア</b>:鈴木浩二 (株)ソニー・ミュージックコミュニケーションズ</li> <li>■ <b>アシスタント・エンジニア</b>:奥田裕亮 (株)ソニー・ミュージックコミュニケーションズ</li> <li>■ <b>アシスタント・エンジニア</b>:阿部博 (株)ソニー・ミュージックコミュニケーションズ</li> </ul>
	<p><b>部門B 「2ch パッケージメディア」</b> ポップス、歌謡曲等</p> <p>「浅森坂」より 「月が誘った」</p> <p>浅森坂 発売元：AMUSE SOFT ENTERTAINMENT INC.</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ <b>メイン・エンジニア</b>:山内「Dr.」隆義 (株)サウンドインスタジオ・ミキサーズクルー</li> <li>■ <b>マスタリング・エンジニア</b>:小泉由香 (有)オレンジ</li> <li>■ <b>レコーディング・アシスタント・エンジニア</b>:奈良美幸 (株)サウンドインスタジオ</li> </ul>
	<p><b>部門C 「サラウンドパッケージメディア」</b> SACD, DVD-Audio, DVD-Video, Blu-rayDisc マルチch</p> <p>「TOSHIKI KADOMATSU Performance 2006 "Player's Prayer" SPECIAL」より「恋の落とし穴」 Blu-ray Disc</p> <p>角松敏生 発売元：(株)BMG JAPAN</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ <b>メイン・エンジニア</b>:川澄伸一 (株)ミキサーズラボ</li> <li>■ <b>マスタリング・エンジニア</b>:田中龍一 (株)ミキサーズラボ</li> <li>■ <b>レコーディング・オペレーター</b>:松本浩昭 (株)ヒビノ</li> <li>■ <b>レコーディング・オペレーター</b>:阿部勝行 (株)ミキサーズラボ</li> </ul>
	<p><b>部門D 「放送メディア」 放送作品部門</b></p> <p>「TANTOクラシック!」より 「チャイコフスキー作曲 交響曲第6番「悲愴」から」</p> <p>指揮：スタニスラフ・スクロヴァチェフスキ 管弦楽：読売日本交響楽団 日本テレビHDTV 2008年5月14日放送5.1ch</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ <b>メイン・エンジニア</b>:今村公威 (株)日テレ・テクニカル・リソーシズ</li> <li>■ <b>セカンド・エンジニア</b>:大越克人 (株)日テレ・テクニカル・リソーシズ</li> </ul>
	<p><b>ベストパフォーマー賞</b></p> <p>「SINGS!」より 「When Sunny Gets Blue」</p> <p>カルロス菅野 発売元：ビクターエンタテインメント(株)</p>	



平成20年12月16日

## 文化審議会著作権分科会私的録音録画小委員会が最終報告書を取りまとめ

昨年12月16日、文化審議会著作権分科会私的録音録画小委員会が開催され、最終報告書が了承された。本小委員会は、私的録音・録画および補償金制度の抜本的見直しを提言する著作権分科会報告書(平成18年1月)を受ける形で平成18年4月に発足し、以後3年間にわたって、私的録音録画補償金制度の見直しと著作権法第30条の適用範囲の見直しに関する検討を行ってきた。当協会も本小委員会の検討に参加し、私的録音録画実態に応じた補償金制度の構築を求めるとともに、違法配信等からの私的録音録画を30条の適用範囲から除外するよう、強く主張してきたところである。本小委員会は一昨年10月に中間整理を公表し、これに対する意見募集の結果を踏まえながら課題の検討を行ってきた。

第一に、補償金制度の見直しについて、文化庁からは、著作権保護手段と契約による解決が図られるまでの暫定措置という位置付けの下に、音楽CDからの録音と無料デジタル放送からの録画については当面補償金制度での対応を検討するとの提案が示され、権利者側は基本的にこれを尊重する姿勢をとってきた。しかし、機器メーカー側は歩み寄りの態度を示さず、関係者間合意には至らなかった。今回の報告書においても「著作権保護手段と補償の必要性については中間整理以降の議論を経てもその溝が埋まらず、さらにタイムシフト録画・プレイスシフト録音と補償の必要性についても認識の相違が顕在化したこともあり、(…略…)関係者間の合意がみられるとは言い難い状況」とされ、今後は、文化庁が著作権分科会の枠組みを離れて関係者間の協議の場を設置するなど、新たな枠

組みで検討することが適当とまとめられている。

次に、30条の適用範囲の見直しのうち、違法配信等からの私的録音録画については、利用者保護に配慮しつつも、30条の適用範囲から除外することが必要であるとの意見が大勢であり、法改正が必要であるとまとめられた。他方、適法配信からの私的録音録画については、補償金制度の見直しと並行して継続検討とされている。

会議の最後に、高塩文化庁次長から「補償金制度の見直しについて合意できなかったのは誠に残念だが、この3年間の議論を通じて問題整理ができたと思う。文化庁としては、問題の重要性・緊急性に鑑み、関係者間の合意形成に向けて精力的に努力したい」との挨拶があったほか、本小委員会の中山信弘主査からは「補償金制度の見直しについて合意に至らなかったことについては主査として大きな責任を感じている。著作権法の憂鬱が現実の問題になってしまった。現在直面しているデジタルコンテンツを象徴している問題だと思う。著作権法がデジタルにどう対応していくかという、非常に大きな課題が与えられている」というコメントがなされた。

本件報告書については、1月下旬開催の著作権分科会にて報告・審議される予定である。

当協会は、現在の私的録音録画実態を反映する実効的な補償金制度の構築を引続き求めていくとともに、違法サイト等からの私的録音録画の違法化については、今年度通常国会における法改正実現に向けて、エルマークの普及活動、著作権教育・啓発活動等を一層精力的に進めていく。

## 私的録音録画小委員会報告書（「第3章 今後の進め方」の抜粋）

本小委員会は、平成18年3月の文化審議会著作権分科会決定を受け、補償金制度とそれに関連して著作権法第30条の範囲の見直しについて検討してきた。

補償金制度の見直しについては、残念ながら関係者の合意を得ることができなかった。事務局提案は、事務局が関係者の互譲の精神を尊重しつつ提案したものであり、検討の過程で事務局提案に賛成する意見があったとしても、それは最終的に関係者が合意するという前提とした意見であるとも考えられるので、関係者の合意が得られなかった以上、今後の議論については、中間整理の段階に戻って進めざるを得ないと考える。しかしながら、検討の過程で行われた様々な議論については、決して無駄であったわけではなく、新たな解決策を模索するための論点がある程度整理されたと考えている。

補償金制度については、現行制度が制定されて以来約15年の歳月が流れ、録音録画の実態も大きく変化しているところである。補償金制度の抜本的な見直しを求めた文化審議会著作権分科会の提言(平成18年1月)の内容は、現在においても変更する必要があるが、提言以降も録音録画実態の変化が続いていることを考える

と、問題解決のための緊急性はより増していると考えられる。

先述したように補償金制度を巡る論点については、3年にわたる小委員会での議論を通じて、ある程度整理されたところであり、小委員会としての議論は今期で終了することが適当であると考えられる。今後は、課題の緊急性にかんがみ、議論を休止するのではなく、新たな枠組みでの検討が適当であると考えられるが、文化審議会著作権分科会における検討が重要であることは言うまでもないが、同分科会の枠組みを離れて、例えば権利者、メーカー、消費者などの関係者が忌憚のない意見交換ができる場を文化庁が設けるなど、関係者の合意形成を目指すことも必要と考える。

一方、第30条の範囲の見直しについては、特に違法録音録画物、違法配信からの録音録画について、利用者保護に配慮した上で著作権法改正を行うことに賛成する意見が大勢であったことから、文化庁は所要の措置を講じる必要があると考える。

なお、その他の録音録画については、補償金制度との関連もあることから、補償金制度に関する見直しの議論の今後の動向を踏まえた上で、更に検討すべき課題だと考える。

# PICK UP

今月のニュース・ピックアップ

## PICK UP

### ケーブルテレビに係る商業用レコード二次使用料 ～日本ケーブルテレビ連盟と合意～

当協会は、有線テレビジョン放送(ケーブルテレビ)に適用する商業用レコード二次使用料について、(社)日本ケーブルテレビ連盟(JCTA)との間で協議を進めてきたが、昨年11月に団体間合意が整った。

二次使用料の対象は、昭和61年の著作権法改正により、無線放送・有線音楽放送からケーブルテレビに拡大されたが、地上放送等の同時再送信は使用料対象から除外されていたため、ケーブルテレビ局の二次使用料対象は、自主制作チャンネル(コミュニティチャンネル)に限定されていた。しかし、近年のケーブルテレビ事業の発展を背景として、平成18年12月の著作権法改正により使用料対

象の限定が撤廃され(ただし、非営利・無償で行われる地上放送等の同時再送信は従来どおり使用料対象外)、改正法施行日の平成19年7月1日以降の期間について、当協会は、コミュニティチャンネルと同時再送信チャンネルの両方に係る使用料協議を推進してきた。

現在、当協会は、各ケーブルテレビ局(JCTA加盟 約370社)との個社契約締結に向けて、(社)日本音楽著作権協会(JASRAC)、(社)日本芸能実演家団体協議会・実演家著作隣接権センター(CPRA)と共に、JCTA主催の著作権説明会(全国12支部で開催)に職員を派遣し、二次使用料に関する契約手続の説明を行っている。

#### 法改正前(平成19年6月30日以前)

##### 【著作権法第97条第1項】

放送事業者等は、商業用レコードを用いた放送又は有線放送を行った場合(当該放送又は有線放送を受信して放送又は有線放送を行った場合を除く。)には、そのレコード(…略…)に係るレコード製作者に二次使用料を支払わなければならない。

#### 法改正後(平成19年7月1日以降)

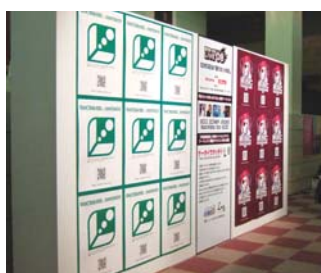
##### 【著作権法第97条第1項】

放送事業者等は、商業用レコードを用いた放送又は有線放送を行った場合(営利を目的とせず、かつ、聴衆又は観衆から料金(いずれの名義をもつてするかを問わず、レコードに係る音の提示につき受ける対価をいう。)を受けずに、当該放送を受信して同時に有線放送を行った場合を除く。)には、そのレコード(…略…)に係るレコード製作者に二次使用料を支払わなければならない。

※下線部分が変更部分

## PICK UP

### 「着うた®の日 LIVE'08」開催



12月3日、ウェルシティ東京(東京厚生年金会館)において、レーベルモバイル(株)主催による「着うた®の日 LIVE'08」が開催された。

「着うた®の日 LIVE'08」は、2002年12月3日に着うた®が世界で初めて配信されたこと

を記念し、レーベルモバイル(株)がこの日を「着うた®の日」と定め、これを祝うために行われた同社初のライブイベントである。当協会はこのイベントに実演家著作隣接権センター(CPRA)とともに、協力参加した。

DJ TAROが司会を務めたライブには、Dew、JYONGRI、辻詩音、Sonar Pocket、加藤ミリヤ、大塚愛(登場順)が出演し、それぞ

れの代表曲を熱唱。会場は大いに盛り上がりを見せた。幕間には、レーベルモバイル(株)今野敏博代表執行役社長が登場し、来場者、着うた®, 着うたフル®のユーザーに対し、感謝の意を述べた。

当協会では、このライブイベントの来場者に向け、エルマークの告知を目的とし、会場受付へのポスター貼付、チラシの配布、司会者によるエルマークの説明などを実施した。



大塚愛



加藤ミリヤ



Sonar Pocket



Dew



JYONGRI



辻詩音



# Monthly Production Report

## 2008年11月度レコード生産実績

11月度の音楽ソフト(オーディオレコード・音楽ビデオの合計)生産実績は、数量で前年同月比77%の2,525万枚・巻、金額で同77%の303億円となりました。

内訳は、オーディオレコードが、数量で前年同月比82%の2,089万枚・巻、金額で同79%の256億円、音楽ビデオが、数量で前年同月比61%の436万枚・巻、金額で同66%の48億円となっています。

### ● オーディオレコード

(数量:千枚・巻/金額:百万円)

		11月実績						2008年1月～2008年11月累計						
		数量	構成比	前年同月比	金額	構成比	前年同月比	数量	構成比	前年同期比	金額	構成比	前年同期比	
シングル	8cmCD	邦	6	0	30%	4	0	35%	162	0	69%	94	0	77%
		洋	9	0	9100%	1	0	1959%	38	0	33%	5	0	22%
		計	15	0	74%	5	0	45%	200	0	57%	99	0	69%
シングル	12cmCD	邦	4,783	23	74%	3,329	13	69%	49,557	22	86%	37,022	14	84%
		洋	18	0	74%	8	0	48%	451	0	90%	208	0	59%
		計	4,801	23	74%	3,337	13	69%	50,008	22	86%	37,230	14	84%
シングル	小計	邦	4,790	23	74%	3,333	13	69%	49,719	22	86%	37,116	14	84%
		洋	27	0	112%	9	0	54%	489	0	80%	213	0	57%
		計	4,816	23	74%	3,342	13	69%	50,208	22	86%	37,329	14	84%
アルバム	12cmCD	邦	10,816	52	85%	15,891	62	81%	119,976	53	100%	167,592	62	97%
		洋	4,888	23	84%	5,942	23	83%	51,115	23	90%	59,012	22	84%
		計	15,704	75	85%	21,832	85	81%	171,090	76	97%	226,604	84	93%
CD	合計	邦	15,605	75	82%	19,223	75	78%	169,695	75	95%	204,708	76	94%
		洋	4,915	24	84%	5,951	23	83%	51,603	23	90%	59,224	22	84%
		計	20,520	98	82%	25,174	98	79%	221,298	98	94%	263,933	98	92%
アナログ	ディスク	邦	11	0	50%	16	0	53%	146	0	91%	224	0	95%
		洋	9	0	60%	15	0	47%	60	0	46%	117	0	43%
		計	20	0	54%	31	0	50%	206	0	71%	342	0	67%
カセット	テープ	邦	311	1	80%	280	1	77%	4,113	2	80%	3,369	1	81%
		洋	0	0	0%	0	0	0%	1	0	37%	0	0	38%
		計	311	1	80%	280	1	77%	4,114	2	80%	3,370	1	81%
その他		邦	15	0	41%	27	0	44%	250	0	78%	421	0	82%
		洋	24	0	72%	50	0	86%	217	0	90%	319	0	70%
		計	39	0	55%	77	0	65%	467	0	84%	740	0	76%
合計		邦	15,942	76	81%	19,547	76	78%	174,203	77	95%	208,723	78	94%
		洋	4,948	24	84%	6,015	24	83%	51,882	23	89%	59,661	22	84%
		計	20,890	100	82%	25,562	100	79%	226,085	100	94%	268,384	100	92%

### ● 音楽ビデオ

		11月実績						2008年1月～2008年11月累計					
		数量	構成比	前年同月比	金額	構成比	前年同月比	数量	構成比	前年同期比	金額	構成比	前年同期比
DVD	邦	3,961	91	62%	4,258	90	74%	45,647	92	108%	51,975	90	119%
	洋	357	8	48%	476	10	34%	3,804	8	97%	5,702	10	92%
	計	4,318	99	61%	4,734	100	66%	49,450	100	107%	57,676	100	115%
テープ・LDその他		42	1	98%	22	0	81%	120	0	39%	216	0	55%
合計	邦	3,982	91	63%	4,272	90	74%	45,743	92	108%	52,170	90	118%
	洋	377	9	49%	484	10	35%	3,827	8	95%	5,722	10	92%
	計	4,359	100	61%	4,756	100	66%	49,570	100	107%	57,892	100	115%

### ● 音楽ソフト(オーディオ/音楽ビデオ合計)

	11月実績						2008年1月～2008年11月累計					
	数量	構成比	前年同月比	金額	構成比	前年同月比	数量	構成比	前年同期比	金額	構成比	前年同期比
オーディオ	20,890	83	82%	25,562	84	79%	226,085	82	94%	268,384	82	92%
音楽ビデオ	4,359	17	61%	4,756	16	66%	49,570	18	107%	57,892	18	115%
合計	25,249	100	77%	30,318	100	77%	275,655	100	96%	326,276	100	95%

### ● ビデオ(含音楽ビデオ)

	11月実績						2008年1月～2008年11月累計					
	数量	構成比	前年同月比	金額	構成比	前年同月比	数量	構成比	前年同期比	金額	構成比	前年同期比
DVD	8,682	98	72%	15,429	98	79%	85,040	100	98%	152,581	99	98%
テープ・LDその他	135	2	214%	374	2	369%	360	0	41%	1,134	1	103%
合計	8,818	100	72%	15,802	100	81%	85,400	100	98%	153,716	100	98%

### ● オーディオ/ビデオ合計

	11月実績						2008年1月～2008年11月累計					
	数量	構成比	前年同月比	金額	構成比	前年同月比	数量	構成比	前年同期比	金額	構成比	前年同期比
オーディオ	20,890	70	82%	25,562	62	79%	226,085	73	94%	268,384	64	92%
ビデオ	8,818	30	72%	15,802	38	81%	85,400	27	98%	153,716	36	98%
合計	29,708	100	79%	41,364	100	80%	311,485	100	95%	422,100	100	94%

備考 1. 上記実績は、会員会社「46社」の集計である。当会員社が受託した非会員社からの販売委託分を含む。  
2. 単位未満四捨五入により、内訳と合計が一致しない場合がある。  
\*オーディオレコードのその他はSACD、DVDオーディオ、DVDミュージック、MDの合計。

## 音楽ソフト

### 邦楽

#### アルバム

##### ● ダブル・プラチナ

WE LOVE ♥ ヘキサゴン	ヘキサゴンオールスターズ	2008.10.22	PC
-----------------	--------------	------------	----

##### ● プラチナ

BEST DESTINY	加藤ミリヤ	2008.11.05	SR
VOICE	中島美嘉	2008.11.26	AI
color	NEWS	2008.11.19	JE
MY SHORT STORIES	YUI	2008.11.12	SR

##### ● ゴールド

サーフ プンガク カマクラ	ASIAN KUNG-FU GENERATION	2008.11.05	KS
Umbrella	清水翔太	2008.11.26	SR
THE "BESTEST" BENNIE K SHOW	BENNIE K	2008.10.29	FL
Around40 ~アラフォー~	ヴァリアス	2008.10.01	SE
DJ KAORI'S J MIX II	V.A.	2008.10.29	UM
アイのうた 2	V.A.	2008.11.26	UM

#### シングル

##### ● プラチナ

Beautiful days	嵐	2008.11.05	JA
LAST CHRISTMAS	EXILE	2008.11.26	AMI

##### ● ゴールド

儂くも永久のカナシ	UVERworld	2008.11.19	SR
Dream Fighter	Perfume	2008.11.19	TJC
紅花の宿/会津のおんな	水田竜子	2007.09.05	K
ニホンノミカタ -ネバダカラキマシター-	矢島美容室	2008.10.29	AMI

### 洋楽

#### アルバム

##### ● ゴールド

雪と氷の旋律	エンヤ	2008.11.12	WJ
チャイニーズ・デモクラシー	ガンズ・アンド・ローゼズ	2008.11.22	UM
アイ・アム... サージャ・フィアース	Beyonce	2008.11.12	SI

※日付は発売日

### 認定基準一覧

音楽ソフト(邦・洋、アルバム・シングル・音楽ビデオ)、音楽配信(着うた®、着うたフル®, パソコンダウンロードシングル・アルバム)共通

名称	略号	基準
ゴールド	G	10万以上
プラチナ	P	25万以上
ダブル・プラチナ	PP	50万以上
トリプル・プラチナ	PPP	75万以上
ミリオン	M	100万以上
2ミリオン	2M	200万以上
3ミリオン	3M	300万以上
以降、100万毎に賞を設定		

基準単位：音楽ソフト・枚、配信・DL(ダウンロード)  
※着うた®のみダブル・プラチナ以上を顕彰

※AI:ソニー・ミュージックアソシエイテッドレコーズ/  
AMI:エイベックス・マーケティング/BMG:BMG JAPAN/DF:デフスターレコーズ/EMI:EMIミュージック・ジャパン/FL:フォーライフミュージックエンタテイメント/JA:ジェイ・ストーム/JE:ジャニーズ・エンタテイメント/K:キングレコード/KS:キューンレコード/PC:ポニーキャニオン/SE:エスエムイーレコーズ/SI:ソニー・ミュージックジャパンインターナショナル/SR:ソニー・ミュージックレコーズ/TJC:徳間ジャパンコミュニケーションズ/UM:ユニバーサルミュージック/WJ:ワーナーミュージック・ジャパン/YRC:よしもとアール・アンド・シー

## 有料音楽配信(「着うた®」他)

### 「着うた®」

#### 邦楽

##### ● 3ミリオン

キセキ	GReeeeN	2008.04.19	UM
-----	---------	------------	----

##### ● ミリオン

Ti Amo	EXILE	2008.09.10	AMI
雪の華	中島美嘉	2003.10.01	AI

##### ● トリプル・プラチナ

素直になれたら	JUJU feat. Spontania	2008.10.01	AI
---------	----------------------	------------	----

##### ● ダブル・プラチナ

ORION	中島美嘉	2008.10.17	AI
-------	------	------------	----

### 「着うたフル®」

#### 邦楽

##### ● ミリオン

永遠にともに	コブクロ	2004.11.19	WJ
--------	------	------------	----

##### ● トリプル・プラチナ

Ti Amo	EXILE	2008.09.10	AMI
君のすべに	Spontania feat. JUJU	2008.07.23	UM

##### ● ダブル・プラチナ

愛をこめて花束を	Superfly	2008.01.16	WJ
キミに歌ったラブソング	Lil'B	2008.08.27	DF

##### ● プラチナ

陽は、また昇る	アラジン	2008.08.02	YRC
時の足音	コブクロ	2008.10.29	WJ
赤い糸	コブクロ	2007.11.28	WJ
~Live at 大阪城ホール 2007.07.05~			
最愛	KOH+	2008.09.24	UM
素直になれたら	JUJU feat. Spontania	2008.11.05	AI
ORION	中島美嘉	2008.10.31	AI
六本木 ~GIROPPON~	鼠先輩	2008.06.18	UM
ニホンノミカタ	矢島美容室	2008.10.29	AMI
-ネバダカラキマシター-			

##### ● ゴールド

Eternally -Drama Mix-	宇多田 ヒカル	2008.10.31	EMI
儂くも永久のカナシ	UVERworld	2008.11.19	SR
LAST CHRISTMAS	EXILE	2008.11.14	AMI
ラヴ・イズ・オーヴァー	歐陽菲菲	2006.11.29	UM
おしゃれ番長 feat. ソイソース	ORANGE RANGE	2008.11.12	SR
傾奇者恋歌	角田信朗	2007.09.08	K
またね。	GReeeeN	2008.07.02	UM
Continue	SEAMO	2008.10.15	BMG
夏恋	スケルトン・エイト・バンビーン	2008.07.09	UM
恋におちて -Fall in Love-	徳永英明	2007.07.11	UM
TOUGH BOY	TOM★CAT	2006.10.04	PC
願い feat. YU-A(Foxxi misQ)	童子-T	2008.10.08	UM
未来予想図II ~VERSION'07~	DREAMS COME TRUE	2008.04.04	UM
足跡	BAReeeeeeeeeeN	2008.10.01	AMI
優しい赤	福原美穂	2008.11.05	SR
PROMISE	MiChi	2008.10.15	AI
幸せになろう	mihimaru GT	2008.10.22	UM
いいんですか?	RADWIMPS	2006.12.06	EMI
願いごと一つキミへ	Lil'B	2008.10.29	DF

### 洋楽

##### ● ゴールド

クレイジー・イン・ラヴ (フィーチャリング Jay-Z)	ビヨンセ	2004.11.04	SI
------------------------------	------	------------	----

### PC配信(シングル)

#### 邦楽

##### ● プラチナ

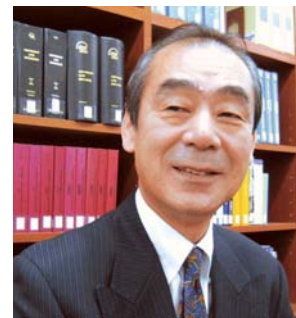
WINDING ROAD	絢香×コブクロ	2006.06.06	WJ
--------------	---------	------------	----

※日付は配信開始日



# 著作権等に関する普及啓発活動 ～若年層に向けて～

## Message & Opinion



社団法人著作権情報センター  
理事・事務局長 春日秀俊

著作権情報センター(CRIC)の目的の中核は、「著作権思想の普及を行う」ことであり、その目的を達成するために、これまでさまざまな事業を展開してきました。特に近年は私的録音・私的録画補償金管理協会(sarah、SARVH)からの委託・助成を得て、著作権思想普及事業の範囲と質の充実を図ってまいりました。

CRICの行う著作権思想普及活動は、各関連団体がそれぞれの分野に特化して実施している具体的な活動と異なり、まさに広く社会に向けた、一般国民に対する著作権全般に関する啓発との側面を持つことから、その成果を直ちに実感しにくいとのジレンマを抱えております。しかしながら、このような地道な活動の継続こそが、社会に著作権思想を根付かせるための土台となる重要なものであるとの認識は、決定的外れではないと確信しています。

中でも、若年層である児童生徒への教育・啓蒙が、将来にわたる著作権思想の定着に大きな役割を果たすとの観点からは、人気アニメキャラクターを主人公とした児童向け冊子「コミックでわかる著作権～おじゃる丸」の発行・配布や、同じキャラクターを案内役とした児童向けWebサイト「Kids-CRIC」の運営等のほか、児童生徒を指導する学校の先生方に著作権についての理解を深めてもらうことを目的に、大阪府教育センターとの共催による大阪府新任教員約1,500人に対する「著作権研修講座の開催」や、小中高等学校における「著作権に関する教育活動事例の募集・表彰」なども実施してきました。

いずれにせよ、著作権思想の普及には、これといった特効薬があるわけではありません。今後も、当センターに期待される社会的意義を自覚のもと、普及啓発活動を推進してまいります。本紙面をお借りして、皆さまのご支援・ご協力をお願い申し上げます。

### 編集後記

明けましておめでとうございます。さまざまな課題に直面しているレコード産業でございますが、2009年は明るいニュースをお届けできるよう、職員一同、音楽文化の発展と産業の復活に寄与していきたいと思っております。本年もどうぞよろしくお願い致します。

(T)

## 協会からのお知らせ



インターネットによる廃盤CDセール「レコードファン感謝祭2008～廃盤CDディスカウントセール～」((社)日本レコード協会加盟32社主催、(社)日本レコード協会協賛、(株)ジャパンミュージックデータ運営)は、12月26日(金)より、WEBサイト(URL: <http://fair.jmd.ne.jp>)をオープンし、事前商品閲覧およびユーザー登録を開始しています。

開催は2009年1月23日(金)午後3時から2月6日(金)午後3時までの2週間です。音楽CDを中心に、約3,800タイトル70,000枚の商品を用意しており、廃盤は定価の7割引、輸入盤・時限再販期間経過商品も割引特価での販売となります。



<http://www.mamo-on.jp>

**THE RECORD No.590** 2009年1月号  
社団法人 日本レコード協会 機関誌

発行人 石坂 敬一  
編集人 生野 秀年  
発行日 2009年1月10日  
発行 社団法人 日本レコード協会  
〒107-0061 東京都港区北青山2-12-16 北青山吉川ビル11F  
TEL. 03-6406-0510(代) FAX. 03-6406-0520(代)  
URL: <http://www.riaj.or.jp/>

制作協力 株式会社エフピーアイ・コミュニケーションズ